発　言　通　告　書

令和 5 年 12 月 13 日

松 山 市 議 会 議 長　　渡　部　克　彦　　殿

松 山 市 議 会 議 員　　**梶　原　時　義**

次のとおり通告します。

発言順位	1	受領日時	12 月　13 日　午前　11 時　45 分	1　枚中　1　枚目
質問等の方式	(一問一答方式)・一括方式		発言時間	約　25　分
答弁を求める者	(・市長)・教育長・選挙管理委員会委員長・公平委員会委員長・農業委員会会長・監査委員・公営企業管理者			

No.	件　名	発　言　の　要　旨
1	**松山市プレミアム付商品券事業（第 2 弾）約 10 億円に対し、約 3 億円（30%）もの事業執行経費はかけ過ぎであり効率化を図るべきではないか。**	(1)松山市プレミアム付商品券事業（第 2 弾）9 億 9,650 万円の予算内訳を問う。 (2)約 10 億円もの予算で本市市民 1 世帯当たり、どのくらいの還元になるのか。 (3)事業執行経費が約 3 億円（30%）はかけ過ぎであり、効率的な事業とはとても思えない。第 1 弾でも同じ指摘をしたが、改善点について効率化した費用などを含め具体的に示せ。 (4)商品券発行という紙ベース中心の事業からキャッシュレスポイント中心の事業に転換することで事業執行経費は半分に抑えられると考えるが、不用となると思われる商品券発行費、郵送料、引換所費、2 次販売費等の費用を具体的に示せ。 (5)9 月議会でも指摘したが、約 4 億円を水道事業支援に充てることで水道料金 30%もの大幅値上げが回避できたことに加え、1 世帯当たり約 5,000 円の現金還付が可能になったこと等を踏まえ、税金の無駄遣いにならないように、更に効率化を図るべきだと考えるが市長の所見を求める。